

Information

第23回日本腎不全看護学会 学術集会・総会 (Web 開催)

ライブ配信▶11月21日(土)~22日(日)
オンデマンド配信▶11月21日(土)~12月6日(日)

テーマ▶「明」—それぞれの明かりを灯そう

参加費▶[中期登録] 会員 1万 1000円, 非会員 1万 4000円, [後期登録] 会員 1万 2000円, 非会員 1万 5000円, 学生 3000円

参加登録期間▶中期登録 11月17日(火)まで, 後期登録 12月2日(水)まで

申込方法▶学術集会ホームページの「参加登録はこちら」ボタンより

問い合わせ先▶運営事務局

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階 日本旅行西日本 MICE 営業部内

☎ 06-6342-0212

FAX 06-6342-0214

✉ jann23@nta.co.jp

<http://web.apollon.nta.co.jp/jann23/index.html>

第26回日本精神保健社会 学会学術大会 (Web 開催)

日時▶11月23日(月・祝)13:20~16:30

テーマ▶メンタルヘルスにおける乗り越え力を高める危機状況

プログラム▶基調講演: 宗像恒次 (SAT 情動認知行動療法研究所) / シンポジウム
①「新型コロナウイルス感染症と SNS 相談」 新行内勝善 (東京メンタルヘルス),
②「Web によるカウンセリングと対面によるカウンセリングからの学び」 中嶋一恵 (SAT 情動認知行動療法研究所), ディスカッション

参加費▶一般 2000円 (税込)

申込締切▶11月13日(金)

申込方法▶参加費を振り込み後, 申込用紙に必要事項を記入し FAX で送信

* 申込用紙は大会ホームページで入手可能

問い合わせ先▶事務局

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-39-8 ローズベイ池袋ビル3階 東京メンタルヘルス内 (担当: 村上)

☎ 03-3986-3220

FAX 03-3986-3240

✉ murakami@t-mental.co.jp

<http://www.jamhs.org/>

第28回日本慢性期医療学会 (Web 開催)

ライブ配信▶12月2日(水)~3日(木)

オンデマンド配信▶12月9日(水)~12月23日(水)

テーマ▶2040 へ向けた健康長寿と地域共生社会—慢性期医療の役割

プログラム▶シンポジウム①「ディベート: 2040年, 日本の医療はどうなるか? それぞれの立場で, 日本の未来を語る」 松田晋哉 (産業医科大学) ほか, ②「2040 外国人労働者の働き方の行方」 富家隆樹 (富家病院) ほか, ③「2040 AI・ICT の実用化はどこまで推進されるのか?」 進藤晃 (大久野病院) ほか, ④「ACP をどうとらえるか—多職種の違いを聞く」 中川翼 (日本慢性期医療協会) ほか, ⑤「2040 地域共生社会の中で認知症の人とどう生きるか」 熊谷頼佳 (京浜病院) ほか, ⑥「2040 リハビリテーションで日本を改革できているか? —栄養のこと, 排泄のこと」 橋本康子 (日本慢性期医療協会) ほか / 記念講演「『夢は叶う』—2040 地球環境はどうなるか, 持続可能な社会を考える」 岩元美智彦 (日本環境設計)

参加費▶1万円

参加登録期間▶10月末日まで

申込方法▶学術集会ホームページに掲載の「参加登録用紙」に必要事項を記入の上, FAX で送信

問い合わせ先▶運営事務局

〒980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6階 日本コンベンションサービス東北支社内

☎ 022-722-1311

FAX 022-722-1178

✉ jamcf28@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jamcf28/>

第3回 Patient eXperience フォーラム (Web 開催)

ライブ配信▶12月5日(土)14:00~17:00

テーマ▶PX と EX から考える Well-being

プログラム▶[第1部] シンポジウム「With/ ポストコロナにおける PX」 / [第2部] アカデミック&プレゼン①「日本における HCAHPS 分析事例」 青木拓也 (東京慈恵会医科大学) / ②「PX と EX」 / 「EX と CX」 / 「PXE 養成講座参加者の成果」 / 「第2回 PX アワード」

参加費▶各1部のみ 1500円, フル参加 3000円, 会員無料

申込方法▶下記 Web サイトの「チケットを申し込む」ボタンより

問い合わせ先▶日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会 (下記 Web サイトの「主催者へ連絡」ボタンより)

<https://peatix.com/event/1622615>

第27回日本精神科看護専門 学術集会 (Web 開催)

ライブ配信▶12月5日(土)~6日(日)

オンデマンド配信▶12月1日(火)~2021年2月4日(木)

プログラム▶学術講演「ハームリダクションとは何か—つながりと包摂の公衆衛生政策」 松本俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所) / パネルディスカッション①「当事者に関心を寄せるハームリダクション—実践編 (仮)」 榊明彦 (成増厚生病院), ②「訪問看護の本質に迫る—立場によって見えること」 東美奈子 (訪問看護ステーション Relisa)

参加費▶会員 1万 3200円, 非会員 2万 4200円

参加登録期間▶11月6日(金)17時まで

申込方法▶学術集会ホームページに記載の申込用 URL より

問い合わせ先▶東武トップツアーズ(株)ソリューション営業部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 16階

✉ 27web2020@tobutoptours.co.jp

<http://jpna-gakujutsu.jp/senmon/>

第5回滋賀医科大学特定行為 フォーラム (Web 開催)

日程▶12月12日(土)13:00~16:50

テーマ▶新しい看護への挑戦 (仮)

プログラム▶基調講演「特定行為研修制度とともに歩んだ軌跡、将来を見つめて (仮)」坂本すが (東京医療保健大学) / 実践報告「特定看護師の活用」訪問看護-病院連携での特定行為実践、NICU・麻酔科間の横断的活動、部署基盤の構築と支援、研修修了者の育成のポイント / ほか

参加費▶無料

定員▶300名

申込方法▶下記ホームページより

問い合わせ先▶滋賀医科大学看護師特定行為研修センター

☎ 077-548-3573

✉ tokutei@belle.shiga-med.ac.jp

<http://www.shiga-med.ac.jp/~tokutei/pg574998.html>

第40回日本看護科学学会 学術集会 (Web 開催)

ライブ配信▶12月12日(土)~13日(日)

オンデマンド配信▶12月1日(火)~12月25日(金)

テーマ▶看護科学の Implementation

プログラム▶会長講演「社会実装される看護科学」萱間真美 (聖路加国際大学) / JANS 40 周年記念理事会企画「Competencies for Becoming a Nurse Scientist」William L. Holzemer (ラトガース大学) / 教育講演①「質的研究方法の実装と看護科学の発展」木下康仁 (聖路加国際大学), ②「Using “Best Practices” in Mixed Methods Research」John W. Creswell (ミシガン大学), ③「Using artificial intelligence to uncover hidden power of nursing data to improve patient outcomes」Maxim Topaz (コロンビア大学病院), ④「マグネット認証への旅」鈴木千晴 (聖路加国際病院) / シンポジウム①

「災害復興に実装される看護科学」神原咲子 (高知県立大学), 石田千絵 (日本赤十字看護大学), 佐々木亮平 (岩手医科大学), ②「医療における当事者・家族意思決定支援の実装」大坂和可子 (慶應義塾大学), 青木裕見 (聖路加国際大学), 家吉望み (東京有明医療大学), ③「看護学と薬理学との新たな融合・発展をめざして—何が求められ、何ができる」柳田俊彦 (宮崎大学), 村山陵子 (東京大学), 高橋有里 (岩手県立大学), 瀬戸奈津子 (関西医科大学), ④国際活動推進委員会「国際学会オーラルプレゼンテーションへの第一歩」清水裕子 (東京女子医科大学), 高井ゆかり (群馬県立県民健康科学大学), Alan Lefor (自治医科大学), ⑤若手研究者活動推進委員会「Next-generation knowledge development approach through team science」Naoki Yoshinaga (宮崎大学), Gojiro Nakagami (東京大学), Yoko Shimpuku (広島大学), ⑥看護ケア開発・標準化委員会「看護行為の開発ならびに標準化のプロセス—学会主導看護ケアガイドライン作成プロジェクトの紹介」須釜淳子 (日本看護科学学会), 佐藤正美 (下部消化管術後患者の長期的排便障害のケアガイドライン構築のためのアセスメントガイドラインの作成チーム), 佐藤和佳子 (高齢者排尿誘導ガイドラインチーム), ⑦「Applying Implementation Science to Improve Care of Frail, Older Adults—看護科学における Implementation Research の展望」Mark Toles (ノースカロライナ大学), 島津太一 (国立がん研究センター), 山川みやえ (大阪大学) / JANA (日本看護系学会協議会) との共同セミナー / 市民公開講座「私の仕事」浅田次郎 (日本ペンクラブ会長) / 一般演題 / 交流集会 (日本語) / ランチョンセミナー

参加費▶会員 1 万 1000 円, 非会員 1 万 4000 円, 学生無料

参加登録期間▶12月23日(水)正午まで

申込方法▶学術集会ホームページの「事前参加申込」ページより

問い合わせ先▶運営事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 14 階 日本コンベンションサービス内

☎ 03-3508-1214

☎ 03-3508-1302

✉ jans40@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jans40/>

第35回日本老年精神医学会 (Web 開催)

ライブ配信▶12月20日(日)~22日(火)

オンデマンド配信▶12月下旬から (予定)

テーマ▶地域を支える老年精神医学

参加費▶1 万円

問い合わせ先▶事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル2 階 ワールドプランニング内

☎ 03-5206-7431

☎ 03-5206-7757

✉ jps.taikai@nqfm.ftbb.net

<http://www.rounen.org/>

*掲載している情報は 10 月 5 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。